

# Law Field Trip

Law Field Trip は、Law Course PA の引率のもと、イギリス法制度のより深い理解のためにロンドンに赴き、実際に法律に関係する施設を見学するというものです。今年は House of Parliament(イギリスの国会議事堂)に行きました。

Law Field Trip に参加することで、教室の講義で得られるイギリス法についてのぼんやりとしたイメージを具体化し、身近に感じられます。議事堂に行くことは、ここにどんな歴史があって、イギリス法が成り立ってきたのかを、法律が作られているその場の臨場感・雰囲気として理解することにもつながります。日本とイギリスの憲政の発展史を事前に勉強すれば、さらに理解が深まるでしょう。



見学では、研修メンバーが2グループに分かれ、PAと一緒に現地ガイドの細かい丁寧な説明を聞きました。1時間半から2時間弱、ガイドはもちろんすべて英語で、内容も濃く、気を張っていなければ聞き逃してしまいますが、わからない単語などが出てきたときは、PAがやさしく教えてくれました。

国会の入り口では厳重に手荷物検査が行われます。上院と下院に分かれた議場は、思っていたよりもはるかに小さく、席もベンチのような作りで指定席ではないところなどは、日本の国会議事堂とずいぶん違う点も見られ、行く価値は大きいと思います。

国会の中は写真撮影が禁止されていますので、実際の議会の様子は Law Field Trip に行き、ぜひ、自分の目で見てほしいと思います。

Law Field Trip はロンドンの散策も兼ねていました。議会見学後、近くの公園に移動し、各自前日に買っておいたお昼ごはんを芝生の上で食べ、さらにトラファルガー広場に移動して2時間ほど自由行動の時間がありました。初めてのロンドンで道に迷い、その後の集合時間に遅れたグループがいて、みんなのブーイングに応え、その場で土下座をする人が出る始末。でも、結局、夕食は皆でおいしくピザを食べ、一日をなんとか終えることができました。そんな Law Field Trip のてん末でしたが、研修の第一週目の企画だったので、この機会に初めてPAや現地の人と楽しく話したという人もいました。迷惑をかけてはいけませんが、PAと仲よくなり、現地の人と交流し、イギリス法制度も実感できる、そんな Law Field Trip ですので、法学研修に参加するなら思う存分楽しんでもらえんと思います。



4.5